



ブリーオーニ 銀座店 東京都中央区銀座4-3-13 tel.03-5524-2630 営業時間:午前11時~午後8時 無休

## 銀座から発信する ブリーオーニのスーツスタイル

1945年にスタートしたブリーオーニは、いつも時代の新風であった。新素材へのこだわり、180を超える工程から生まれる独自のシルエットなど、すべてが最高の着心地を追求するためのものであった。そして今年、日本人に向けて発信されたスーツはエクスクルーシブな新しいブリーオーニのシルエットであった。

### 伝統を守りながら 前進するスタイル

男と花。この両者の関係には、実は長い蜜月の歴史があった。

服飾史の盲点のような史実を教えてくれたのは「サ・ブートニエール」。中世から現代にいたるまでの「花をまとう男」を豊富なビジュアル資料とともに紹介する華麗な本である。この本をプロデュースし、自らも一章を執筆しているのがウンベルト・アンジェローニ氏、ブリーオーニ社のCEOである。

ブートニエール（ボタンホールにさす花）とともに生きた男たち、美しい歴史的証拠を見せられると、アンジェローニ氏が序文でいう「ナチュラル・グレイス（自然な気品）をもった男」には確たるビジョンがあるのだと納得する。

そんなナチュラル・グレイスの理想は、ブリーオーニがつくる服においても体現される。イギリスのテイラーがつくる鎧のように頑丈なスーツを否定するところから出発したブリーオーニのスタイルは、とにかく軽く、着る人の身体にふわりとなじむ。めざすのは鎧ではなく、「第2の皮膚」。その「皮膚」

は思わず触れたくなるつややかさをたたえているが、それもそのはず、素材が極上なのである。厳選された素材のなかには、カシミアよりもバシユミナよりも希少な羊毛素材、エスコリアルまである。

極上の素材を使って仕立てる最高級スーツ。それを支えるのは仕立て職人（サルト）にはかならないが、ブリーオーニでは優秀なサルトを養成するために学校まで作っている。ナツアレノ・フォンテイコリ高等縫製学校。ここでマスターテイラーからじかに技術を習得するサルトの卵たちは、将来長きにわたってブリーオーニの品質を守り続けるだろう。

ブリーオーニ銀座店ではそんなスーツを、日本で採寸シイタリアで仕立ててもらおうオーダーが可能である。日本での微調整も心配無用。なんと！ 日本でも地下には、ブリーオーニが扱う糸をすべてそろえたアトリエがあるのだ。華やかな1、2階のブリーオーニ・ワールドを支えるこの職人かたぎなアトリエ、スパイの秘密基地のようでもある。そういえばブリーオーニを世界的に有名にした顧客のひとりに、5代目ジェームズ・ボンドがいた。



3月26日(金)~31日(水)の6日間、銀座店にてス・ミズーラのトライアルフェアを行います。ショップ内のオーダーサロンにて、厳選された生地の中から、自分仕様の1着をお仕立ていたします。期間中、春夏限定ファブリックを「特別な価格」にてご用意。詳しくはブリーオーニ銀座店までお問い合わせください。